

# 愛別町の略史

- |      |       |   |      |       |   |
|------|-------|---|------|-------|---|
| 1798 | 寛政10年 | 幕府勘定吟味役三橋藤右衛門石狩川上流を探検する。  | 1912 | 明治45年 | 大吹雪のため1週間交通杜絶。<br>台風のため工事中の下愛別小学校倒壊。                  |
| 1808 | 文化4年  | 幕府勘定役近藤重蔵石狩川上流を探検する。  | 1913 | 大正2年  | 中愛別産業組合設立。  |
| 1873 | 明治6年  | 開拓史履教師ワスソン、五等出仕荒井郁之助等測量隊の一行、アイベツ川口に達した。   | 1914 | 大正3年  | 愛別小学校中愛別15線北3番地に位置変更認可となる。                            |
| 1882 | 明治15年 | 富士成豊、愛別川口に標柱を建てる。   | 1915 | 大正4年  | 公立消防組設置。  |
| 1887 | 明治20年 | 福原鉄之輔、上川原野植民地選定開始（愛別原野を含む）  | 1916 | 大正5年  | 森谷千仞村長（四代）となる。  |
| 1890 | 明治23年 | 上川郡内に旭川、神居、永山の三村設置。   | 1917 | 大正6年  | 愛別産業組合設立。<br>開村20周年祝賀式挙行。                             |
| 1892 | 明治25年 | 永山村を割き鷹栖村（母村）設置、当時愛別は永山村戸長役場の所轄に属する。また神楽村を置く。   | 1919 | 大正8年  | 食糧事務所設置される。<br>狩布拓殖道路完成する。                            |
| 1894 | 明治27年 | 愛別原野植民地区画決定、貸付開始される。  | 1921 | 大正10年 | 水野豊次郎村長（五代）となる。<br>電話が架設開通する。                         |
| 1895 | 明治28年 | 金富農場に70戸（和歌山県）伊香牛55戸（岐阜団体）中愛別50戸（愛知団体）移住する。   | 1922 | 大正11年 | 安足間、中愛別巡査駐在所設置。<br>石北線新旭川～愛別間開通。                      |
| 1896 | 明治29年 | 伏古に山形県人2戸移住する。  | 1923 | 大正12年 | 石北線上川駅まで開通（中愛別・安足間駅開業）                                |
| 1897 | 明治30年 | アンタロマに長谷農場20戸（富山県）松尾農場14戸（山形県）、また愛知団体十数戸移住する。鷹栖村及び永山村を割き愛別村設置、五線公有地に戸長役場を新設開庁、初代戸長七条元次就任。   | 1924 | 大正13年 | 原多市村長（六代）となる。<br>愛山以東を分割、上川村を分村する。                    |
| 1898 | 明治31年 | 愛別尋常小学校開校（中愛別）<br>戸籍法実施により戸籍役場を設置する。  | 1925 | 大正14年 | 愛別発電所竣工する。<br>安足間郵便局開設される。                            |
| 1899 | 明治32年 | 愛別郵便局開設。<br>下愛別小学校、伊香牛小学校同時開校される。<br>草浦耕蔵愛別戸長（二代）を命ぜられる。<br>愛別巡査駐在所設置。<br>営林署愛別森林保護区員駐在所開設。 | 1926 | 大正15年 | 下愛別産業組合組織される。   |
| 1900 | 明治33年 | 越路簡易教育所、アンタロマ簡易教育所を開設。  | 1927 | 昭和2年  | 安足間発電所送電開始。   |
| 1901 | 明治34年 | 伏古簡易教育所を設置する。<br>ヨーコシナイに24戸（美濃団体）移民。<br>マクンベツ教育所を設置する。                                      | 1930 | 昭和5年  | 愛別神社社柱に列す。  |
| 1902 | 明治35年 | ルベシベ簡易教育所を設置する。   | 1931 | 昭和6年  | 中愛別郵便局開設。   |
| 1904 | 明治37年 | 伏古へ17戸移住する。   | 1932 | 昭和7年  | 徳星鉱山開鉱。<br>役場庁舎、議事堂改築する。                              |
| 1906 | 明治39年 | 二級町村制を施行、和井内喜之（初代）村長となる。<br>第1回村議会議員選挙を執行。<br>村会議事堂の新設。                                     | 1933 | 昭和8年  | 愛別橋改修工事行われる。  |
| 1907 | 明治40年 | 字ヨーコシナイ、比布村から村界を変更して愛別村に編入される。<br>松塚容央村長となる。（二代）<br>松本農場開設される（新潟団体7戸、福島団体5戸入植する）            | 1934 | 昭和9年  | 愛別村章制定。   |
| 1908 | 明治41年 | 狩布教育所開設する。  | 1935 | 昭和10年 | 徳星鉱山本格的に操業する。   |
| 1909 | 明治42年 | 逓信省水力調査局測量班滞在（1～2年）して石狩川本支流の河川を測量する。  | 1937 | 昭和12年 | 一級町村制施行。<br>村内一組合とした愛別村産業組合が発足する。                     |
| 1910 | 明治43年 | 太田竜太郎村長（三代）となる。   | 1938 | 昭和13年 | 中愛別土功組合、安足間土功組合が合併、愛別土功組合設立。<br>協和松本農場を開放、全耕作者自作農となる。 |
| 1911 | 明治44年 | 下愛別市街地大火。   | 1939 | 昭和14年 | 上伏古郵便局開設される。  |
|      |       |   | 1940 | 昭和15年 | 村内の字名を改正する。   |
|      |       |   | 1941 | 昭和16年 | 町内会、部落会連合会を結成する。<br>堀家万太郎村長（七代）となる。                   |
|      |       |   | 1942 | 昭和17年 | 旭川厚生病院愛別診療所開始。  |
|      |       |   | 1943 | 昭和18年 | 徳星鉱山廃鉱となる。<br>忠霊塔完成する。                                |
|      |       |   | 1944 | 昭和19年 | 水銀鉱山本格的に操業する。   |
|      |       |   | 1945 | 昭和20年 | 水銀鉱山廃鉱となる。  |
|      |       |   | 1946 | 昭和21年 | 森畑森太郎村長（八代）となる。                                       |
|      |       |   | 1947 | 昭和22年 | 道北バス、協和線開通する。   |
|      |       |   | 1948 | 昭和23年 | 愛別村農業協同組合を設立。<br>農業共済組合を設立。                           |
|      |       |   | 1949 | 昭和24年 | 第1回成人式を行う。  |

		愛別中学校愛山中学校の建築工事始まる。			ライスセンター 543平方メートル。本町六町内にスピードドライ式、2万トン処理の籾乾燥調整施設が完成する。
1950	昭和25年	比布・愛別間道路が準地方費道の昇格。			
1951	昭和26年	愛別村ラジオ文化協会発足。 愛別土功組が愛別土地改良区となる。	1969	昭和44年	初場所で宇旭山出身の旭国武雄力士の十両入りが決定、1月30日晴れの郷土入り、2日には旭国関十両昇進祝賀会を行った。
1952	昭和27年	愛別村教育委員会を設置。			奥村時要町長に当選（三代）
1953	昭和28年	農業労働者がこの年から来村する。			
1954	昭和29年	台風15号来襲により学校その他全半壊100戸を数え被害甚大。 開基60年記念行事行う。	1970	昭和45年	地区子ども会が設立される。 愛別町金富に第一林業株式会社愛別工場設置。7月31日から8月1日の豪雨で総額284,262千円の被害があった。
1955	昭和30年	前仏豊作村長となる（九代） 広報「あいべつ」を発刊する。 直営診療所愛山支所竣工。			岐阜獅子舞が北海道代表として山形市への東北北海道郷土民俗芸能大会に参加した。
1956	昭和31年	共同聴取施設が町営となる。	1971	昭和46年	郷土芸能岐阜獅子舞が町無形文化財に指定。総合センター竣工。
1957	昭和32年	旭山辺地集会所85坪（280.5平方メートル）竣工。	1972	昭和47年	愛別有機肥料第一工場設置、操業開始。 愛別地区道営圃場整備事業、道営かんばい事業起工式を行う。
1958	昭和33年	土木機械ブルドーザーを購入する。			オーツクボール愛別が39号線にオープンする。
1959	昭和34年	ボーイスカウト愛別隊発足する。 愛別、朝日道路8年目に開通。	1973	昭和48年	社会福祉協議会、愛情銀行を発足。 愛別土地開発公社発足する。
1960	昭和35年	軌道客土起工する。 石狩川頭首工完成する。 愛別村公民館竣工。			四町共同塵芥処理場、富沢衛生センターが完工し、11月から操業開始。
1961	昭和36年	町制が施行され愛別町となる。 前仏豊作初代町長となる。	1974	昭和49年	総合センター内に上川中部消防組合愛別支署が事務所をおく。 愛別町開基80周年記念式典を実施、愛の鐘が役場屋上に設置される。
1962	昭和37年	ラジオ共同聴取廃止される。			11月初めに雪で約30ヘクタールの水田の稲が倒伏、雪の下になった。自衛隊に援農を依頼するなど延べ3,000人の援農で稲刈りを終った。
1963	昭和38年	第1回町長、町議会議員選挙。 旭山地区パイロット事業着工。 旭山、協和、中里、愛別の4中学校統合する。 国道39号線の変更新国道開通する。			愛山、愛別地区簡易水道工事完成。
1964	昭和39年	役場新庁舎鉄筋コンクリート3階建、1,207.2平方メートル落成。 愛別町民憲章を制定。	1975	昭和50年	中里母と子麴の家竣工。
1965	昭和40年	愛別劇場（安住一雄経営）営業をやめる。 季節保育所として中里保育所が開所。 開基70周年記念奉告祭並びに祝賀式典を行う。 旭川国際カントリークラブ愛別コースオープン。 愛別郵便局舎が南町に新築。	1976	昭和51年	旭山出身の旭国関が大関に昇進。 大関旭国関の祝賀パレード 新愛別駅舎完成。
1966	昭和41年	第一次農業構造改善事業育雛センター着工、同年完成する。 旭川警察署愛別巡査部長派出所が国道39号線前に新築移転業務を開始した。 役場野球チームが国体予選で優勝、第21回大分国体に北海道代表として出場した。 大雪浄化センターが完工式を行い本格操業開始。	1977	昭和52年	旭川営林署愛別合同担当区事務所竣工。 中愛別地区愛山局がダイヤル化され、町内の電話は全部ダイヤル化。 愛別地区ミニライスセンター、えのき茸集出荷施設の建設落成。
1967	昭和42年	教育目標、学校教育目標、社会教育目標を設定した。 農村集団電話、本町、協和、富沢、豊里四まて450戸に設置される。 中山松雄町長当選（二代） 愛別中学校が新校舎に移転。 愛別中学校の旧校舎に愛別高校が移転する。 この年は豊作であった。	1978	昭和53年	青色申告と完納の町の宣言を議会で決定。 昭和44年着工以来10ヵ年の歳月を経て道営圃場整備事業四地区、道営かんがい事業1地区、道営老朽溜池事業1地区、総事業費39億6,000万円で道営土地改良事業が竣工した。 中里小学校体育館落成祝賀会実施。 愛山小学校校舎、体育館改築する。 愛別高校新校舎（管理棟普通教室）並に第二グラウンド竣工。
1968	昭和43年	道営事業促進のため愛別土地改良総合事務所を開設。 厚生診療所を民間委託、斉藤一次医師を招へいして愛別医院を開設した。	1979	昭和54年	町教研で小学校社会科副読本「あいべつ」を発刊する。 字名一部改正。
			1980	昭和55年	愛別小学校改築工事が竣工。 愛別高等学校が北海道に移管。 愛別中学校に交通安全記念塔を建立。

1981	昭和56年	愛別中学校格技場の落成式を行う。 地籍調査事業をはじめめる。 老人福祉センター竣工。 協和郵便局の郵便区愛別局に統合。	1990	平成2年	町の機関が4月から第2・4土曜日の閉庁を実施 ふるさと創生基金で小型飛行機購入 航空協会発足 公共下水道一部供用開始 滋賀県愛東町より「アドベンチャー北海道」と銘打った研修団が来町。 水と緑のまつりが初めて開かれる。 協和小学校新築。 山村広場完成。
1982	昭和57年	愛別火葬場竣工。 旭山小学校廃校。 株式会社旭愛が金富にコンクリート製品工場新設。 愛別ダム本格着工 町社会福祉協議会が法人組織となる。	1991	平成3年	出生祝金制度始まる。 忠霊塔が北町スポーツ公園内に移転。 あいべつ球場オープン。 天皇賜杯全日本軟式野球大会のサブ球場にあいべつ球場が選ばれ熱戦が繰り広げられる。 町制施行30周年記念講演会開催。 宿泊研修施設、研修館「サンライズ」完成。
1983	昭和58年	安足間駅、中愛別駅が無人化となり停留所となる。 教育委員会で「愛別町の教育に関する目標」を設定した。 10月6～7日に旭川地方気象台始まって以来の早い初雪に稲が倒伏、冷害対策本部設置。 愛別ダム定礎式。	1992	平成4年	愛別町リバーフロント計画概要が発表 愛別町ライオンズクラブチャーターナイト15周年記念式典行われる。 交通事故死亡者ゼロ500日で町交通安全推進協議会が表彰される。 学校週5日制が実施され、毎月第2土曜日が休日となる。 愛別町農協きのご集出荷施設が完成 愛山警察官駐在所が25年ぶりに新築移転し業務開始 「米等主要農畜産物自給確保の町宣言」を町議会が議決する。
1984	昭和59年	道北バス愛別～協和線の廃止に伴い、町営バスが運行される。 きのご生産組合連合会が設立10周年を迎える。 雪どけが遅れた年ではあったが、8月中に稲刈りが始まり大豊作であった。 町開基90周年記念式典を実施する。	1993	平成5年	スパイクタイヤ使用禁止となる。 愛別町開基100年記念シンボルマーク・シンボルテーマが決定する。 旭川地方法務局愛別出張所が廃止となる。 愛別神社社務所が新築落成する。 役場の執務が週休2日制となる。 中井延也氏により愛山公民館で青空彫刻教室が開かれる。 石狩川親水緑地公園がオープン 米の作況が著しい不良となり、戦後3番目の凶作となる。 戸籍除籍簿がマイクロフィルム化される。 高規格道路旭川紋別自動車道旭川・愛別道路着工する。
1985	昭和60年	スポーツ公園にテニスコート、ゲートボールコートが完成。 金富公民館完成。 愛別町史第2巻発刊 久米敏町長当選（四代）	1987	昭和62年	第1回きのご里フェスティバル開催（入場者約6,000人） ダイコロ愛別飛行場完成。 町ファミリースキー場にリフト設置される。 交通事故死ゼロ700日達成。
1986	昭和61年	愛別除雪ステーション（土現）完成。 町立愛別診療所完成。 愛別ダム完成（狩布湖） 本町導水路函渠に伴い、ふれあい通りが完成（ジャンボ迷路）	1988	昭和63年	J R北海道中愛別、安足間駅舎新築 B & G 愛別海洋センター完成 愛別海洋クラブ発足 農村環境改善センター完成 きのご総合研究所完成
1987	昭和62年	第1回きのご里フェスティバル開催（入場者約6,000人） ダイコロ愛別飛行場完成。 町ファミリースキー場にリフト設置される。 交通事故死ゼロ700日達成。	1989	平成元年	愛別郵便局舎新築 あいべつこの里フェスティバルが「北海道まちづくり100選」に選ばれる。 愛別町農業共済組合が合併により上川中央農業共済組合となる。 「はまなす国体スポーツ100選」に本町の雪中ソフトボールが選ばれる。 愛別町農業協同組合協和支所が廃止となる。 愛別町4 Hクラブ20周年記念式典が行われる。 愛別町商工会婦人部20周年記念式典が行われる。 中井延也氏（多摩美術大学教授）の石の彫刻を購入する。
1988	昭和63年	J R北海道中愛別、安足間駅舎新築 B & G 愛別海洋センター完成 愛別海洋クラブ発足 農村環境改善センター完成 きのご総合研究所完成	1994	平成6年	町立中里保育所が閉所される。 愛別大谷学園（愛別幼稚園）が閉園される。 愛別町立愛別幼稚園が開園される。 愛別町役場庁舎増改築工事完了する。 愛別町100年記念史が発刊 愛のまちサミットが愛別町で行われる。 町開基100年を迎え、各種記念事業が行われる。 愛別町きのご生産組合連合会20周年記念式典行われる。
1989	平成元年	愛別郵便局舎新築 あいべつこの里フェスティバルが「北海道まちづくり100選」に選ばれる。 愛別町農業共済組合が合併により上川中央農業共済組合となる。 「はまなす国体スポーツ100選」に本町の雪中ソフトボールが選ばれる。 愛別町農業協同組合協和支所が廃止となる。 愛別町4 Hクラブ20周年記念式典が行われる。 愛別町商工会婦人部20周年記念式典が行われる。 中井延也氏（多摩美術大学教授）の石の彫刻を購入する。	1995	平成7年	小春トンネル貫通式が行われる。 伏古開拓100年記念式典が行われる。

		B & G スポーツ北海道大会 B & G 愛別海洋センターに於いて行われる。 道々下川愛別線が鬼頭トンネル完成。 豊里・愛別間の豊愛橋着工。			
1996	平成8年	高齢者生活福祉センターオープン。 YOSAKOIソーラン嵐舞あいべつ結成。 第10回きのこの里フェスティバル開催(入場者1万人) 愛別小学校体育館新築。	2002	平成14年	作。 「ひがしの団地」分譲開始。 身体障害者福祉協会創立50周年。 あいべつ農業振興センター設置。 市町村合併に関する地区説明懇談会開催。
1997	平成9年	きのこの里あいべつオートキャンプ場オープン。 愛別町高齢者事業団設立。 江湊昇一町長当選(五代) 愛別町きのこ生産組合連合会青年部20周年記念式典行われる。 愛別町ライオンズクラブチャーターナイト20周年記念式典行われる。 愛別商工会青年部30周年記念式典行われる。 農村公園オープン。 中里小学校開校100周年記念式典行われる。 '97ツール・ド・北海道国際大会(第1ステージ旭川-愛別-紋別)スタート地点となる。 愛別中学校開校50周年式典行われる。 堆肥製造施設完成。	2003	平成15年	あいべつりパーフロントパーク内に「きのこの里パークゴルフ場」オープン。 特別養護老人ホーム・いこいの里「あい」開設。 協和小学校カレンダー製作30周年。 高規格幹線道路旭川・紋別自動車道「愛別IC」開通。 第48回全日本柔剣道優勝大会で優勝。 あいべつ球場が町民の手で模様替えをして13年ぶりによみがえる。 高規格幹線道路旭川・紋別自動車道「愛山上川IC」開通。 協和地区開基・開校100年。
1998	平成10年	愛別蓬萊太鼓愛好会発足10周年記念式典行われる。 (新)富沢衛生センター・小動物焼却施設供用開始。 協和小手作り版画カレンダー25年目。 あいちゃんマンアドバルーンが商工青年部より町へ贈られる。 宇愛別に郷土芸能伝承館完成。 商工婦人部設立30周年。 愛別小学校開校100周年記念式典行われる。	2004	平成16年	飛鳥保育所閉所し半世紀の歴史に終止符。 愛別川に「さけ」を遡上させようと、稚魚の放流。 38年ぶりとなる3つどもえの町長選で矢野宣行氏当選(六代)。 「まちづくり出前講座」がスタート。 石狩川愛別頭首工完成。 愛別小学校開校90周年を記念して「あずま屋」のかやぶき屋根補修。 親水緑地公園パークゴルフ場オープン。 旭川層雲峡自転車線「旭川～愛別間」26.5km開通。 第54回全国青年大会「軟式野球の部」へ初出場。
1999	平成11年	リサイクルセンター供用開始。 さくら保育所改築。 松声会設立40周年記念発表会開かれる。 愛別高等学校創立50周年記念式典行われる。	2005	平成17年	愛別川に「さけ」を遡上させようと、稚魚の放流。 38年ぶりとなる3つどもえの町長選で矢野宣行氏当選(六代)。 「まちづくり出前講座」がスタート。 石狩川愛別頭首工完成。 愛別小学校開校90周年を記念して「あずま屋」のかやぶき屋根補修。 親水緑地公園パークゴルフ場オープン。 旭川層雲峡自転車線「旭川～愛別間」26.5km開通。 第54回全国青年大会「軟式野球の部」へ初出場。
2000	平成12年	石蔵改修「蔵KURARAら」オープン。 中心市街地街路灯整備。 豊愛橋開通。 特別養護老人ホームの建設に着手。 愛山小学校開校100周年記念式典行われる。 第21回全日本自治体職員野球選手権全国優勝大会のサブ球場にあいべつ球場が選ばれる。 高松宮賜杯第44回全日本軟式野球大会北海道大会開かれる。	2006	平成18年	地域担当制「地域のことを学び隊」を実施。 公の施設に指定管理者制度導入。 愛別町米麦生産振興協議会が転入者にお米「愛一杯」をプレゼント。 福祉有償運送事業がスタート。 高規格幹線道路旭川・紋別自動車道「愛山上川IC～上川天幕IC」開通。
2001	平成13年	ごみのポイ捨て防止条例制定される。 愛別の地酒復活「ふしこ」新酒披露される。 江湊昇一町長無投票当選により再選。 愛別レーシングカートコースがオープン。 「こどもの日全国少年野球教室」が元プロ野球選手の指導で開催。 小春トンネル開通。 移動図書館バス始動。 町政施行40周年記念モニュメント「翔耀」製	2007	平成19年	愛別中学校校舎等改修工事完了。 愛別ライオンズクラブのCN30周年記念事業として交通安全指導車を寄贈。 愛別中学校開校60周年を記念して環境整備をおこない門柱を設置。 石北4商工会広域連携協議会を設立。 道道下川愛別線の一部区間路線変更。 愛別松声会設立50周年記念民謡発表会開催。 中里小学校開校110周年式典の実施。 愛別舞茸センター完成。 協和の里のもち工房「愛ふくふく」完成。
			2008	平成20年	裁判員制度が開始される。 町有飛行機「ムーニー号」が売却される。 愛別町学校統合検討委員会を設置。
			2009	平成21年	上川広域滞納整理機構が設立。 愛別町長選で矢部福二郎氏当選(七代)。 道北ドクターヘリ運行事業が開始される。

- 交通死亡事故ゼロ日数で1000日達成。
- 2010 平成22年 旭川信用金庫愛別支店が役場庁舎へ移転。  
 小学校閉校（愛山・中里・協和小学校）。  
 高規格幹線道路旭川・紋別自動車道「比布」  
 C～丸瀬布IC」まで開通。  
 23年継続開催していた「きのこの里フェス  
 ティバル」を口蹄疫の関係により中止。  
 「2010麺サミット in あいべつ」開催。
- 2011 平成23年 町制施行50周年。  
 愛別高校閉校、61年の歴史に幕を閉じた。  
 IP告知端末機による音声放送開始。  
 地域情報通信基盤整備事業完成式。  
 B&G海洋センターリニューアルオープン。  
 共生型交流館「ぼんて」オープン。  
 移動販売車「愛ちゃん号」運行開始。  
 最後の「百田宗治祭」。  
 自動車文庫「aia i」車輛更新。  
 愛別川に産卵のためにサケが52年ぶりに遡上  
 しているのを確認。
- 2012 平成24年 町が四月に定年退職した愛別町出身の元大島  
 部屋親方(大関旭國)に感謝状を贈る。  
 北海道教育委員会で旧道立愛別高校校舎を活  
 用した道立知的障害特別支援学校高等部の新  
 設(平26年4月開校、2間口)決定。  
 旧中里小学校に企業連合事業協同組合北海道  
 講習センターが開校。
- 2013 平成25年 町長選で前佛秀幸氏当選（八代）  
 ハッピーボーン500人記念式
- 2014 平成26年 北海道立美深高等養護学校あいべつ校開校。  
 開拓120年を迎え、各種記念事業が行われる。  
 カントリーサインが新しくなる。  
 町営バスがデマンド運行に変更。